

=====
はやぶさ 第 330号 2019年12月06日(金)

=====
はじめての SDGs「エスディーズ」 5回シリーズ

第4回 * 理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

著者:株式会社 I&C・HosBiz センター
Captain 平本 靖夫

=====
・SDGsの基本的な考えと理念経営の実戦について、やさしく5回にわたり解説いたします
*** 毎回お読みの方は、序論と目次をスルーして本文より、お読みください***

序 論

私達を取巻く自然環境・社会環境・経済環境は、今までの常識からの激変の中を進行中のようです。この2~3年続いた風水害は今年も台風15・19号で、多大な災害を生活や農業へもたらしました。温暖化のため今後もしばらくは、続きそうな予感がします。

世の中は益々暮らしにくくなってますね。少子化・人口減・高齢化の進行の影響で、格差社会の拡大・実質所得の減少・子どもの貧困が6人に1人・高齢者の生活は脅かされています。未来への希望は見えない状況で閉塞感が漂い解決しようのない漠然とした不安があり重苦しい生活感情の中にあるのは私だけでは無いと思います。しかし、未来に展望を持って生きています。

世界は、米中の貿易戦争、イギリスのEUからの脱退問題とヨーロッパの衰退、中東の争い、アフリカや南米の難民問題とテロのリスク等危機は世界中に広がっています。それらは直接間接に私達の生活に影響を与えているのを日々実感していますね……
国連はその対策として、人類と地球環境の対策のためSDGsを提案したのです。

現実がどんなに苦しくとも困難に満ちているとも、私たちは「**勇気と希望**」をもって未来に向かい、次世代を担う子々孫々を育てていく使命があり、それなくして「**持続**」はできないのです。次代の変化はむしろ未来を志向する者にとっては“**チャンス**”でもあるのです。

今後の経営環境に適応していくには、企業はこのSDGsの経営課題の解決なしでは持続することは無いと断言できます。それはダービンの進化の話のとおりで、子孫を残すための個体が生存できないからです。

5回の目次は以下のとおりです。変更することもありますので、悪しからずよろしくお願いします。

① # 327……191025……

配信済み・バックナンバー:https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722/pdf_1_381.pdf

* SDGsを必要としている地球環境の現況
中小企業での取組みへの指針

② # 328……191108……

配信済み・バックナンバー:https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722/pdf_1_383.pdf

* SDGsは理念活動……やるべきことの17項目・
やれることから始める……すでにやっていることもある

③ # 329……191122……

配信済み・バックナンバー:https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_384.pdf

* SDGsによるビジネスチャンスは
・サプライチェーン ・生活者の意識と選択

④ # 330・・・191206

* 理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

⑤ # 331・・・191220

* SDGs は地球と人類の未来を創造して持続し続ける世界を築く
平和・地球環境・愛念

*****本文*****

第4回 * 理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

1、第1回でアジェンタには17の「目標」と169の「ターゲット」から「持続可能な開発目標」で構成されていると述べました。第2回ではSDGs「エスディーゼーズ」の17目標のジャンルは

・人間と社会の課題が①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮と12目標 ・地球環境の課題が⑦⑬⑭⑮と4目標と究極の目標である⑯平和 に整理される。

そして、どの目標も日常の私達の生活と地球環境に深くかかわっているのを認識いたします。

私見になりますが、解決するには国際協力がないと実現しない課題、国レベルでやらないと実現しないこと、地域のコミュニティーでないとできない課題等があります。では、中小企業ではどう取組んだら持続し効果がでるのでしょうか？

・第3回では、取組むのには身近な現場主義実践するのが、中小企業では良いのではないかと、それと、サプライチェーンによって取引の条件の一つになると予測されるので、関心をもって望んでほしいと述べました。 ではいよいよ核心に迫ります。

1、理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

・HosBiz が推進している「理念経営」のコンセプトは「平和・地球環境・愛念」ですが、考働基準は

- (1) 85%の人々が働いている中小企業が活性化しないと、経国済民は実現できない。
* 誰のための政治であり経済か？ ・一部の特権階級、セレブではなく国民のために
- (2) 地域が自立的に経済活動でき生活を維持できる施策の実施。
そうでなければ地域は破壊されてしまい、過疎化は加速する。そして山地は荒れる。
- (3) 格差社会の進行をとめ、誰でも安心して生きられる、教育・医療・住居制度を築く
* 教育 * ワクワクする仕事 * 住み続けられる街 *
- (4) 地球環境を回復・維持して次世代の人に受継いでいく・・・最大のミッション
* エネルギー * 食料 * 水 * 戦争、テロの防止

***こうしてまとめると、SDGsの目指す目標と同軸であるのが理解できると思います。「理念経営」の言葉は、26年前の1993年に「理念経営のすすめ方」中央経済社の執筆にあたって私が初めて使った造語です。改訂版がアマゾンで出ています。今は大分浸透してきてると肌で感じてますので、新版を来年に内容を強化して出すつもりです。

2、理念経営×SDGsを推進できる経営環境を整えて共に前進する

- 新たなる運動・ビジネスを起こすには、事業マインドと多くの人々の共感のもとですが、十分な経営資源（人・モノ・金・“しくみ”・情報）が不可欠ですが、その内、**理念経営XSDGs**を推進するには、「資金と“しくみ”」が前提条件になりますので、鋭意整えることに全力を尽くしています。

- ①**理念経営XSDGs**に共感していただいている、経営者・経営支援家・税理士等を会員とするネットワーク「**HosBiz・World**」を設立して徐々にスタートしております。
情報の共有化と災害に対する安全対策として、クラウドを活用した「**HosBiz・DC-BOX**」の実証テストを始めてます。
- ②“しくみ”としては、スポンサーによる資金の提供が大前提ですが、次の3つの“しくみ”を構想して中小企業の「**進化・発展・持続**」をサポートいたします。

- (1)民間型の「XXXXX 投資育成機構」（仮称）を構築して、資金調達を支援します。
従来の制度融資は、高度成長時代に工業団地の利活用を元に考えられてきました。
つまり、① 設備投資資金（土地・建物・生産設備・店舗設備等担保価値があるのモノ）
② 運転資金（仕入・在庫等）のみでした。

- しかし、現在の激しい経営環境の変化に対応して「持続」するには当てはまりません。
① 商材開発資金 ② 市場開発資金 ③ 人材開発資金（採用・育成）④ ITC・情報武装資金が、必要です。それらは皆「無形」のもので物的担保がありません。
ですから、金融機関は融資できないので、借手が見つからないのです。資金ニーズはあるのですが、リスクを手当てできないで融資チャンスが得られないのが現状なのです。
その対策として、4つに資金ニーズに対して、投資育成機構が**連帯保証**をして金融機関に融資してもらう“しくみ”を創ります。運用の委細はいずれ発表いたします。
この“しくみ”を成功させるには、強力なスポンサーが必要ですが、更に税理士・経営支援家（診断士・MBA・FP等）が多数機能することも条件です。

- (2)有用な経営支援家を育成する1年コースの専修学校等を建学する
上記、投資育成機構をうまく機能させるには有能な「経営支援家」を少なくとも500人（10年間で・・・）育成して、融資先のマネジメント・パートナーして活動することになり、毎月のキャッシュフローをPDCAし、かかりつけ医として経営を支援できる体制を作ります。
スキルだけでなく、人格（リーダーとしての器）をも含めて教育する方針です。
実行計画は、投資育成機構の（案）が出来次第に発表いたします。

- (3)NPO 理念経営推進 PJT（仮称）を創設する
川口・鳩ヶ谷地区の中小企業のコミュニティ・ビジネスの支援と地域の活性化のためにNPOを来年には創設します。沢山の活動計画をもっているのですが、いくつかを述べますと
①奨学育英制度を創設して、国内・海外の専修学校受講生や大学生および日本語学校生に超長期の育英資金を考える
②文化・スポーツ活動に対する機会の創出支援
****創設しましたらHPで発信しますので、賛同される方は入会をお願いします。

***理念経営とSDGsが目指していることは、ほとんど同じです。私たちは実務者としてどのように実践して実現するのかが、問われているのです。HosBizのクルーはそのことをミッションと感じている人々で、多くの方々と交流してます

*これから大きな災害が予測されてます、0331・西日本豪雨・最近の15号・19号の風と雨の災害では、日ご

る地域のコミュニティが災害を最小化し、回復を早めていることが実証されています。ここに、大きな示唆が隠れていると思います。地域の中小企業はその中核としての役割があると思います。消防や警備において私のお手伝いして企業も、そうした役割を果たしています。

3、HosBiz のSDGsへの取り組み……SDGsでも現場主義で行きますので……

・支援先や自分の生活姿勢をみると、SDGsの体系のように進めてはいませんが、日常の経営活動や生活の中で、節電・節水・ゴミの削減・物流の改善・駅や道の掃除・スペシャルオリンピックの後援等に取り組んでいる。そうした活動を積み上げて、SDGsのどの目標に当てはまるのかと整理確認して、社会により還元する方法を創意工夫するのが、良いと考えます。はじめにSDGsありきではなくて、結果としてそうなる方が無理のない持続可能なSDGsであると思っています。

国連は2030年を活動の期限と考えていますが、この地球上に人間が生活するかぎり、永遠の課題であるのです。この課題を解決するために私は生まれて来たのだと認識しております。

中小企業で働く社員、経営者、株主、協力者(業者・外注・フリーランス等)の幸せが実現しなければ日本は良い国にならないとの「強い信念と不退転の決意」で理念経営を推進しております。

HosBiz・Worldは会員制のクラブで、理念経営を存在理念として志向し、キャッチコピーは「平和・地球環境・愛念」で、HosBizのクルーはの理念に基づいて考働して皆様と地域社会に貢献いたします。

このSDGsの実践は理念経営の推進そのものと受け止めて全身全霊をかけて邁進します。あと、1回解説いたします。

***** 次回は191220・第5回*最終回*****

HosBizが目指している理念のビジョン

*SDGsは地球と人類の未来を創造して持続し続ける世界を築く
平和・地球環境・愛念

***** 理念経営の基礎・東京中小企業同友会・豊島支部セミナー*****

12・25(水)11:30~13:00 Captain 平本が講師です。

チラシはhttps://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_177.pdf

***** 小冊子にまとめ・セミナーを企画しております*****

2020年3月頃に東京で3時間くらいのセミナーを予定しています。開催要領ができましたら、はやぶさ・とHPで、ご案内しますのでよろしくお願ひします。

***** 第6回ビジネスモデル発表交流大会のご報告*****

はやぶさ・臨時号で報告いたしますので、楽しみにしておいてください。19・11・01にお届けしました。

バックナンバーは、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_382.pdfをご覧ください

**お問い合わせ・質問は メールアドレス: hos_biz@hosbiz.net

発行責任者:平本 靖夫、 編集長:木滝 和宗

配信解除URL:配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://kai11.net/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=shibakuru26%40gmail.com